

平成25年度水道用水供給事業費特別会計決算の概況〈収益的収入及び支出〉【税抜】

(百万円)

	23年度決算	24年度決算	25年度決算	25 - 24	備考
営業収益(a)	10,819	10,680	9,485	▲ 1,195	○有収水量の増(8市町村) ・広陵町:H24.10月から県水100%受水に移行したため ○有収水量の減(12市町) ○料金改定 平均単価 ㊶140円/㎡→㊷125.38円/㎡
配水収益	10,819	10,680	9,485	▲ 1,195	
有収水量(千㎡)	77,278	76,274	75,645	▲ 629	
営業費用(b)	7,441	7,649	7,225	▲ 424	
職員給与費	670	616	435	▲ 181	・支給対象人員が減少したため ㊸60人→㊹55人 ・退職手当(90百万円)を退職給与引当金の取り崩しにより支給したため
物件費	2,001	1,863	1,910	47	
薬品費	206	227	206	▲ 21	・吉野川系統において、かび臭物質の発生減により粉末活性炭投入量が減少したため
動力費	271	271	303	32	・電力料金が上昇したため
修繕費	595	395	350	▲ 45	・修繕箇所が減少したため
委託料	541	554	511	▲ 43	・点検周期等により委託業務が減少したため
水源施設管理費負担金	262	283	361	78	・大滝ダムが稼働したため
減価償却費等	4,770	5,170	4,879	▲ 291	・大滝ダムの稼働による減価償却費の増(㊺4,694百万円→㊻4,760百万円) ・資産減耗費の減(㊼476百万円→㊽119百万円)
営業利益(c) 【a - b】	3,378	3,031	2,260	▲ 771	
営業外収益(d)	74	78	52	▲ 26	・運用利率の低下による受取利息の減及び雑入の減
営業外費用(e)	1,329	1,219	1,193	▲ 26	・企業債残高(㊾533億円→㊿482億円)の減少により支払利息が減少したため
営業外利益(f) 【d - e】	▲ 1,255	▲ 1,141	▲ 1,141	0	
特別損失(g)	0	0	121	121	・過年度損益修正損
当年度純利益(h) 【c + f - g】	2,123	1,890	998	▲ 892	・当年度未処分利益剰余金1,006百万円のうち1,000百万円を減価積立金に積み立て
前年度繰越利益剰余金(i)	5	8	8	0	
当年度未処分利益剰余金 【h + i】	2,128	1,898	1,006	▲ 892	